平成29年9月20日発行（毎月1回20日発行）

ふるさとへの思いと絆をつなぐ広報誌

9 2017 September No.76 ふるさとだより

久之浜・大久、四倉、平、小名浜、勿来

浜に威勢良く響き渡る、男たちの声

勿来

表紙からMessage

8月15日、早朝から準備が進められた小浜海岸での「左義長（さぎちょう）」。15本の孟宗竹（もうそうだけ）に麦わらを巻き付け、住民などが力を合わせて砂浜に立ち並べました。また、8月1日からは、同時に行う盆踊りに向けてお囃子（はやし）の練習も実施。昨年復活した地域の伝統行事に、一丸となって取り組みました。（P7に関連記事）

各地区トピックス

久之浜大久 浜の夏祭り実行委員会

四倉 四倉海岸でフラフェス

平 薄磯でスケボーフェス

小名浜 新盆供養盆踊り大会

ふるさとだよりの記事が動画で!!

マークのある記事にスマホやタブレットをかざすと動画が見られます!（見方はP8）

ふるさとの未来へ向けて

地域間交流を目指して
内灘×久之浜交流プログラム

平成25年から行われている石川県内灘町と久之浜の子どもたちとの交流プログラム。3年間は久之浜小の児童が内灘町を訪れ、昨年と今年は内灘町の児童を久之浜に招きました。

8月5日から8日まで行われた今回の交流。焼きそばやカレーを自分たちで作り、漁船の体験乗船やじゃんがら、和太鼓でいわきの伝統芸能に触れ、平の七夕祭りも見学しました。

来年度以降の交流について「子どもたちだけではなく、大人も交えた地域間交流を目指そう」という発展的な意見も出されています。

県いわき海浜自然の家での交流初日の記念撮影

地域とともに生きる

第4回浜の夏祭り
実行委員会
坪井 芳夫さん

若い力で久之浜の町を盛り上げよう!

久之浜は震災で甚大な被害を受けましたが、全国からの支援や協力で復興へ向けて歩き出すことができました。「これからは地元の若者の手で町を盛り上げていこう」との思いで実行委員会を立ち上げ、平成26年には、50年ぶりに花火大会と盆踊りを一緒に行いました。今年も地域住民をはじめ、久之浜を応援してくださる県内外の方々の協力で、浜の夏祭りが無事開催できて、ほっとしています。

今後も震災で亡くなられた方への追悼の花火と供養の盆踊りを行う祭りを継続し、町に活気が戻るように皆で力を合わせ頑張っていきたいです。

8月11日に行われた第4回浜の夏祭りの開会式で挨拶する坪井さん

私たちのふるさとへの願い

久一小PTA会長　木下佳久さん

久之浜町　高木史織さん

お盆のじゃんがら供養

8月13・14日、久之浜・大久自安我楽継承会によるじゃんがら念仏踊りの供養が行われました。新盆を迎えた地区内外の家40軒を2日間かけて回りました。

小学生も鉦を鳴らして新盆供養

6年目のオーガニックコットン

8月1日、横浜市立大の学生と教員らが、サイエンスサマープログラムの一環で久之浜を訪れ、綿の有機栽培を進めている畑で雑草取りなどの作業を行いました。

作業には留学生を含む40名が参加

久之浜・大久 夏の風物詩

7月30日、市海竜の里センターで第19回ニジマスつかみどり大会を開催。堰き止められた川にニジマスが放たれると、子どもたちは夢中で魚を追いました。

歓声があがったつかみどり大会

久之浜・大久ピックアップ

ふるさとの未来へ向けて

四倉海岸にフラの花開く

8月12日、四倉海水浴場の特設ステージで「震災復興応援全国高校生フラフェスティバル」が行われました。前日にいわきアリオスで開かれた「第7回フラガールズ甲子園」に出場した25校のうち、初めて最優秀賞に輝いた好間高など18校が参加。

華やかな衣装を身にまとった高校生たちは、時折小雨が降る中でも満面の笑顔で、復興を願いながら各校ごとにフラダンスやタヒチアンダンスを踊りました。また、18校の踊り手が全員で「月の夜は」を披露して、会場に詰めかけた観客を魅了しました。

フラ甲子園で最優秀賞を受賞した好間高の生徒たち

地域とともに生きる

下仁井田青年会
会長
酒井 秀和さん

気持ちを込めて笠踊りを披露

地区に50年以上続く笠踊りを受け継いでいます。毎年7月中旬になると、11名ほどのメンバーで諏訪神社に集まり、OBなどに教わりながら練習をします。お盆に下仁井田地区を中心に新盆の家を回るほか、結婚式などのお祝い事や地域の行事に呼ばれることもあります。

笠踊りには花笠と唐傘の2種類があり、和讃（わさん）という静かな踊りもあるんですが、どちらかというと賑やかな踊りのほうが多く、メンバーが息を合わせて、気持ちを込めて踊ることを心がけています。

笠踊りの伝統を受け継ぐ青年会のみなさん

私たちのふるさとへの願い

上仁井田子供じゃんがらの6年生

鬼越　河越紀子さん・真宙（まひろ）くん

四倉ピックアップ

鎮魂と復興を願う花火

8月16日、四倉鎮魂・復興花火大会が四倉海岸で開かれ、式典やアトラクションの後、スターマインなど約3,000発の花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩りました。

会場に詰めかけた観客を魅了した花火

5周年を迎えた道の駅

8月11日、道の駅よつくら港が震災後の平成24年にリニューアルしてから5周年を迎え、よさこいの演舞や海鮮ピザ焼き体験教室などが開かれました。

ピザ作りに挑戦した子どもたち

仲町ホコ天が大賑わい

8月6日、四倉仲町商店街で「第26歩仲町ホコ天ブラブラリー」が行われ、射的、かき氷などの出店が並び、四倉中の吹奏楽部による演奏もありました。

思い思いに踊り流す来場者

地域とともに生きる

IWAKI LOCAL SKATERS
代表
遠山 駿介さん

受け入れてくれた地域への感謝

趣味のスケートボードは22歳の時から始め、以来ずっと続けています。3年前、薄磯地区多目的広場の建設が決まり、多目的広場でのスケートボードの使用を全面可能にしていただきました。

薄磯ふれあいスケートボード大会を実施するにあたり、今年2月から区役員や薄磯復興協議会メンバーと一緒に準備を重ねた結果、当日は多くの来場者で盛り上がりました。

今後も地元に定着するイベントを計画し、未来の子どもたちがスケートボードに親しめるきっかけと土壌づくりを整えていきたいと考えています。

8月19日に行われたイベントで子どもたちに指導する遠山さん（右）

ふるさとの未来へ向けて

豊間中学校新校舎供用開始

新校舎屋上で始業式を迎えた生徒たち

豊間小学校西側に建設を進めていた豊間中学校新校舎が完成し、8月25日の2学期始業式から供用が開始されました。

始業式は体育館が建設中のため、屋上を使用し行われ、全校生徒55名が参加しました。「慣れ親しんだ小学校校舎を離れるのは寂しいですが、新校舎での学校生活も楽しみ」と生徒の一人は話していました。

なお、学童施設「豊間しおかぜ児童クラブ」は、8月28日から新校舎1階で供用開始しています。

私たちのふるさとへの願い

豊間　大峯さん一家

豊間　遠藤さん一家

平ピックアップ

地域伝統をつなぐ

8月26・27日、豊間諏訪神社境内で地域伝統の獅子祭りが行われました。今年は、とーちゃんの会の指導で地区の小学生が太鼓を練習し、祭りに参加しました。

堂々と太鼓を披露する子どもたち

地域の子どもたちの夏

沼ノ内地区に約450年続く地域伝統の子ども獅子舞。今年、獅子となった子どもたちは夏休み返上で練習に励み、8月19日に町内で見事な舞いを披露しました。

薄磯との町境で舞った獅子舞

ふくしまみなと未来塾

8月6日、東京都港区との交流事業（NPO法人MOVE主催）が行われ、約80名の参加者が沼ノ内地区や薄磯地区を訪れ、地区の方々と交流しました。

いわきの海の魅力を満喫

地域とともに生きる

江名諏訪神社
文化伝統保存会事務局
江名 守康さん

伝統行事を通して郷土愛を育む

震災で心に傷を負った地域住民に少しでも希望を見出して欲しいという思いで当会を結成しました。約250年の歴史がある江名の郷土芸能「三匹獅子舞」は、他地区の舞い手によって行われてきましたが、地元住民の手で行おうと、江名小の児童から舞い手を募集。練習を重ねた結果、地元の子どもたちによって、獅子舞を奉納することができるようになりました。

今後も伝統行事を通して子どもたちに郷土愛を育み、江名の伝統を受け継いでいってくれることを願っています。

3月から週2回行われている練習。練習の合間に、子どもたちの指導をする江名さん（右）

ふるさとの未来へ向けて

真心込めて育てた花々

8月8日、江名・永崎女性の会の方々が育てたマリーゴールドや日々草など、ポット約400個分の花が東京へ送られました。「道で咲かせよう東北の花」プロジェクト事業の一環として、今年4月に花の種が贈呈され、会員の方々が育てた花は、都庁前の花壇に定植されています。

「可愛い子どもを送り出す思いです」と話す永崎女性の会のみなさん

「ちゃんと育って良かった」と話す江名女性の会のみなさん

私たちのふるさとへの願い

江名獅子舞手 戸澤・田名部・鏑木（かぶらぎ）さん

江名獅子舞手 金成・吉田・田名部さん

小名浜ピックアップ

受け継がれる伝統芸能

8月26・27日、江名獅子祭が行われ、今年は6名の子どもたちが舞い手となり、江名や折戸地区内で獅子舞を披露。勇ましい姿にたくさんの拍手が送られました。

根渡（ねわたり）神社の下で「扇取（おうぎと）り」を披露

江名地区軟式野球大会開催

8月15日、江名在住者と県内外に就職した人たちが集い、野球大会が行われました。参加者の一人は「年に一度しか会えない人との再会いが楽しみ」と話していました。

老いも若きも全力プレー

賑わう盆踊り大会！

8月14日、江名港で新盆供養盆踊り大会が開催。御詠歌の奉納や江名子供会による、よさこいソーラン踊りなどが披露された後、多くの住民が櫓（やぐら）を囲んで踊りました。

御囃子に合わせて踊る参加者

ふるさとの未来へ向けて

小浜・岩間通信 今年度も発行を決定

8月3日、平成29年度小浜・岩間地区復興対策協議会第2回役員会が勿来支所で行われました。

平成28年度まで3ヵ月に1度発行していた「小浜・岩間通信（地域情報誌）」について、今年度も引き続き、10月（第7号）からの発行が決定しました。

小浜町市道渚・西ノ作線 整備が完了

平成27年10月末から避難路としても整備が行われていた、小浜町の市道渚・西ノ作線の工事が、7月31日に完了しました。

8月1日から通行可能となった市道渚・西ノ作線。幅員の拡張と台橋の架け替えを実施

地域とともに生きる

H.P.T実行委員会 代表
蜂須賀 勇一さん

「店づくり」から広がる「町づくり」

現在、勿来駅前で飲食店を営んでいます。市内南部の個人商店をPRし、町の活性化に繋げるため、平成22年にこの委員会を発足しましたが、翌年に震災が起き、約2ヵ月間、店の前で炊き出しを行っていました。また、「植田七夕まつり」も、震災の年にも町を明るくしようと開催を続け、今年はこれまでにない規模で実施することができました。

地元のお店が元気になれば、町も元気になる。これからも、支えてくれる仲間と力を合わせ、地域の「点」を「円」にしていければと思っています。

今年7月9日に行われた植田七夕まつりで、カレーライスを仕込む蜂須賀さん

私たちのふるさとへの願い

なこそ復興プロジェクト タヒさん

錦町前原　鈴木理玖（りく）くん

勿来ピックアップ

水田に浮かぶ巨大アート

山田町の水田で田植え作業が行われた「田んぼアート」が、8月に見頃を迎えました。主催のNPO法人ミッション渡辺香理事長は「来年も実施したい」と話しています。

色の異なる稲で描かれた白鳥

キャンプで学ぶ防災知識

8月19・20日、平成29年度「いわき防災サマーキャンプin勿来」が、勿来公民館で行われました。子どもたちはゲーム形式で、災害時の対応や知識を学びました。

火おこしから行った、空き缶炊飯

雄大な夏の景色を満喫

7月30日、第22回四時ダムまつりが開催されました。模擬店やフリーマーケットのほか、ダンスや太鼓・バンド演奏も披露され、大勢の家族連れで賑わいました。

人気を集めたダム湖の巡視体験

ふるさとダイアリー

平　西会津小学校との交流会

8月4日、豊間小と西会津小5年生の夏季交流会が県いわき海浜自然の家で行われました。震災後も途切れることなく、今回で25回目を迎えました。今年は四倉海岸での砂遊びを楽しみ、夜はキャンプファイヤーなどを通して、友情を育みました。

両校協力し合って作った砂像

友情の火を灯した児童たち

小名浜　賑わう小名浜の夜

8月4日、いわきおどり小名浜大会が開催。参加者2,021名が「ドンワッセ」の掛け声とともに踊り始め、会場は大勢の見物客で賑わいました。また、8月5日には、アクアマリンパークで第64回いわき花火大会が開催され、今年は1万2千発の花火が小名浜の夜を彩り、来場者を魅了しました。

優勝した小名浜登柳（とうりゅう）会のみなさん

夏の夜空を彩る創作花火

四　倉　海嶽寺（かいがくじ）盆踊り

8月14日、海嶽寺の境内で盆踊り大会が開かれ、来場者は模擬店で買い物を楽しみ、盆踊りと四倉音頭を踊りました。

櫓を囲んで踊る来場者

上仁井田諏訪神社夏祭り

祭りを盛り上げたフラダンス

8月19日の上仁井田諏訪神社の夏祭りでは、境内に模擬店が並び、特設ステージでフラダンスの発表やカラオケ大会も行われました。

8月26日、四倉諏訪神社で西瓜祭りが行われ、参道には山形県尾花沢産の西瓜を販売する出店が並び、来場者が買い求めていました。

四倉諏訪神社西瓜祭り

たくさんの西瓜が並ぶ参道

楽寿荘で夏祭り

平中山青年会によるじゃんがら

8月26日、特別養護老人ホーム楽寿荘で夏祭りが行われ、じゃんがら念仏踊り、よさこい、民謡会などが祭りを盛り上げました。

勿　来　小浜町の伝統行事「左義長（さぎちょう）」

8月15日、昨年32年ぶりに復活した「左義長」が、今年も小浜海岸で行われました。あいにくの小雨が降るなか、夕方には地域住民が演奏するお囃子（はやし）に合わせて盆踊りを実施。その後、麦わらを巻き、砂浜に立ち並べた15本の孟宗竹（もうそうだけ）に次々と火が点けられ、燃え盛る炎に歓声が上がりました。

大漁旗で飾った櫓を囲み盆踊り

幻想的な姿を見せた小浜海岸

久之浜・大久　久之浜こども園夏祭り

園庭の模擬店でのお買い物

7月29日、久之浜こども園で夏祭りが行われました。園舎内でお面作りやゲーム、園庭では盆踊りなどが行われ夏の一日を楽しみました。

夏休みこども教室

自分の指紋に興味津々の児童

8月2日、久之浜一小体育館で夏休みこども教室が開かれました。お巡りさんによるワンポイント教室では手形や指紋の検出実験をしました。

いわき市 ふるさとだより
No. 76
平成29年9月20日発行
●発行:いわき市 ●編集:有限会社 いまぁじゅ ふるさとだより編集室
●編集室:〒973-8411 福島県いわき市小島町3丁目3-3 プリンセス・アイ1F
Tel&Fax:0246-26-5157
Mail:furusato@asally.co.jp http://www.furusatodayori.com

お知らせ

平成29年度いわき市総合防災訓練 実施のお知らせ

昨年11月22日の津波警報は、早朝の発表となり、市避難所班による避難所開設が避難者の到着後となった事例が発生しました。

これを受け、早朝や夜間、休日の災害の場合、初動時における地区住民を中心とした避難所開設・運営の必要性が再認識されたことから、「地区住民を中心とした、実践的な地域防災力の充実・強化」をテーマに、市総合防災訓練を実施します。

◆開催日時

9月24日(日)　8:30～12:00

※三和・田人地区は9月30日(土)の同時刻に実施。

◆地区

平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久（市内13地区）

※訓練の内容は地区によって異なります。

◆想定災害

9月24日（日）／午前8:30／震度5弱地震発生

・津波警報発表

・土砂災害警戒区域における土砂崩れ前兆現象発生

※前日の雨により地盤が緩んでいる状況を想定。

昨年11月5日に行われた、草野小体育館での市総合防災訓練

【問い合わせ】
市危機管理課
☎0246−22−1242

ふるさと伝言板

海あるき町あるき 江名の町再発見

日時／10月15日(日) 9:00～
場所／江名港内

空き家と住まいの相談会

日時／10月15日(日) 13:00～16:00
場所／いわき・ら・ら・ミュウ 2F研修室

◆参加費無料。
◆申し込みは下記まで。当日受付も可。

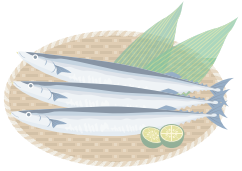
【予約・問い合わせ】市住まい政策課
☎0246-22-1178

住まいと暮らしの再建相談会

日時／9月24日(日)
①10:00 ②13:00
③15:00（各90分程度）
場所／中央台公民館 大会議室(1)(2)
定員／9組(各時間3組)

◆お申し込みは開催日の3日前まで。

【問い合わせ】市ふるさと再生課
☎0246-22-7437



ふるさとPICK UP

少年・少女の消防署体験入隊が開催

8月4日、今年で25回目となる「平成29年度いわき市少年・少女の消防署体験入隊」が、市消防本部と平市民運動場で行われました。市消防本部の主催で、今年は市内の小学6年生の男女40名が参加しました。

参加した児童は4つの班に分かれて、「体験入隊チャレンジクイズ」や、新聞紙を利用したスリッパ作りに挑戦した後、「救助袋体験」「消防車による放水体験」「水消火器による消火訓練」などの体験コーナーを回りました。

参加者は署員の説明を聞きながら、消防の仕事や防災について理解を深めていました。

救助袋を利用して高さ12mから滑り降りる児童

署員の指導を受けながらポンプ車の放水を体験

担当記者が振り返る「ふるさとだより」のあゆみ

平成23年3月11日に発生した東日本大震災でいわき市内、特に沿岸地域は甚大な被害を受けました。私たちは津波被災地域のコミュニティ再生や、地域のみなさんの復興へ向けた取り組みなどを紹介するために、平成23年7月から毎月1回、久之浜・大久、四倉、平、小名浜、勿来の各地区で「ふるさとだより」を発行することになりました。

このコーナーでは、「ふるさとだより」の各地区の担当記者が、創刊から今までの6年間を振り返ります。次号では四倉地区担当記者が思いを語ります。

平成23年度創刊号の表紙

第7号四倉地区版表紙写真

第8号久之浜・大久地区版表紙写真

動画の見方

①アプリをダウンロード

Download on the App Store
GET IT ON Google Play

②アプリを立ち上げ、パンダマークのある写真にスマホをかざす。
③自動的にスキャンが始まる。
④認識されたら、動画を再生。

※画像に光が反射しないようにスキャンしてください！